



・発行・
京都障害者
スポーツ
振興会

(京都障害者スポーツ振興会創立35周年記念)

京都障害者スポーツ振興会

設立35周年記念を迎えて

京都障害者スポーツ振興会

会長 内山茂生

昭和四十六年十一月二十九日(一九七一年)に振興会が設立(日本で始めて障害者スポーツ団体として誕生)して三十五周年を迎えます。

この間、創立当初の先人たちのこの道の振興にかけるといって関わってくださった多くのボランティアの方々の熱い情熱と並々ならぬご努力の尊い汗の結晶は、今日の振興会が充実発展した基盤であります。既に亡くなられた方もおられ、ここにその当時の活躍を偲び、ご冥福をお祈り申し上げたく存じます。

その積み重ねられた歴史と伝統を受け継いで、更に多くの方々の一層の深いご理解とご協力ご支援のお陰様により、障害のある人々のスポーツの発展を目指した諸事業の充実振興を推進しております。

先月の十月八日付発行されました会報(第二九七号)に『振興会発足の頃の想い出』と題して芝田徳造先生がいろいろなお話を詳しく書いておられますので、発足当時からのごことがよく知ることが出来ます。

本会が平成十三年に創立三十周年を迎えて、記念誌「三十年の歩み」を発刊しました。以来五十年の活動をつみかさねておりますので、その歩みのおもな点を年度毎にまとめます。

◎平成十四年度は ①四月『障害者スポーツのつどい』が三五〇回記念を迎えました。

◎九月七・八日の両日に第十九回全日本身体障害者水泳選手権大会を四月オープンした西京極公園内の「アクリアリーナ」において成功裏に開催しました。

◎平成十五年度は ①フライングディスク競技を普及するため、京都府北部(綾部市)南部(城陽市)で講習会を実施。秋にそのまゝとして丹波で大会を実施。

◎障害種別には関係なく競技をしたことのある多くの希望から、第一回京都府障害者卓球チャンピオン大会を実施しました。大変な好評で、毎年継続して開催することになりました。

◎第十五回全国車いす駅伝競走大会開催を記念して、連続十五回出場の京都A・Bチームなど十チームと京都の吉松時義選手他2名が開会式において表彰されました。

◎平成十六年度は、世界のスポーツのビックイベントパラリンピックがアテネで開催された年でありました。京都からも寒川進選手(陸上競技1600mリレーで銅メダル)、江島大介選手(水泳200mメドレーリレーで銅メダル)、中山要選手(シッティングバレーボール7位入賞)、北村友里選手(水泳100mバスケ6位入賞)、畑野泰子選手(車いすバスケットボール5位入賞)、谷朋子選手(車いすフェンシング一勝四敗)の六名の選手が日本代表選手として出場し、各選手の活躍に

感動を覚えたことは記憶に新しい。これらのことは、まさに京都の障害者スポーツ界の誇りでありました。

◎平成十七年度は ①全京都障害者総合スポーツ大会は第25回記念大会として開催されましたが、京都府障害者スポーツセンターのプールが、水深と飛び込みの高さの関係で飛び込みスタートが禁止され(日本水泳連盟からの危険防止通達により)全種目を水中スタートで実施しました。

◎初めて、精神障害者バレーボール京都大会が開催され、来年以降も継続して行われます。

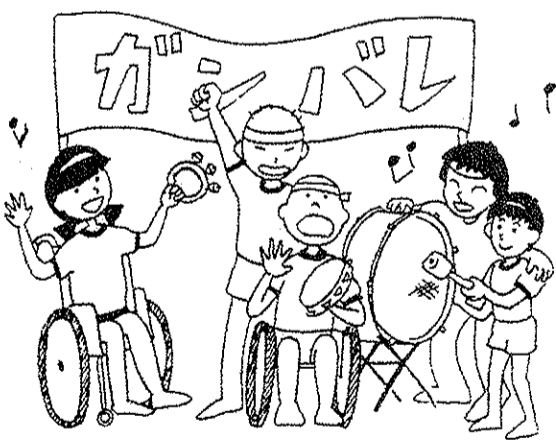
◎平成十八年度 ①本会の運営組織が新しく編成され四月一日から発足しました。②何と云いましても、大事業は「障害者スポーツのつどい」が四〇〇回記念を迎えたことでありました。昭和四十六年三月に第一回を開催してから月一回の開催です。実に三十五年間の長きにわたり、京都の障害のある人々のスポーツ活動のつみかさねと継続することの尊さを誇りました。

この「つどい」を温かく育てて頂いた。お支えに感謝です。深く敬意と感謝を申し上げます。このように歴史と伝統を誇る「つどい」が京都の障害者スポーツの全身の原動力になっており、この間、四万人に及ぶ障害のある人々やその家族がスポーツの素晴らしさに触れ、進んでスポーツの素晴らしさに生み出し、健康に生きていくための大きな励ましと自信をつけてもらっております。また、記念事業としての「きょうとつどい」400スポーツコンテスト」に全国の障害者関係の機関・団体・学校・施設が多数応募して頂きました。この道の関心や期待の深さを感じました。この「障害者スポーツのつどい」や昭和五十七年(一九八二)から開催された「障害者水泳のつどい」は、京都府立伏見港公園体育館のご支援(七・八月を除く毎月一回)二十五年間も開催されております。また、府内市町村各地でも盛んに「スポーツのつどい」が開催され、皆さんが元気よくスポーツを楽しんでおられます。これらは、京都の障害のある人のスポーツの更なる発展の飛躍台として、新しい歴史に向かってお互い頑張つて

まいりましょう。③全国シンクロナイズドスイミング大会は、第十五回記念として、カナダからも参加されて国際親善費に開催されました。④全京都障害者総合スポーツ大会の水泳大会では、京都府障害者スポーツセンター様が、飛び込み台を改良されたお陰で、飛び込みスタートがでし出場選手に喜ばれました。また、本大会の最終種目アーチエリート大会は、新しく誕生された南丹市と同障害者団体の両方々の絶大な協力により、生憎の雨天でしたが、成功裏に開催ができた。創立三十五周年記念として開催しました第二十六回大会は無事閉幕しました。

⑤十一月十九日には、創立三十五周年記念「祝賀と感謝の集い」を開催し、永年にわたり本会の充実発展に格段のご支援ご協力を頂いた団体・企業・個人の方に感謝状を、また、役員活躍を褒め表彰状を贈呈並びに多くのボランティアの皆さんに心から感謝の意を表したいと思っております。

本年度は、まだまだ行事が残っておりますが、歴史と伝統に輝く本会は、皆さんの英知と和と力なくしては到底充実発展は望めません。どうぞ、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。終わりに、振興会の三十五周年の歴史を噛み締め、心からお祝いを申し上げます。



行事予定	11月	14(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月の つどいは 12 / 10 第2日曜日
		18(土)	車いすハンドボール審判講習会⑤	京都市障害者スポーツセンター	
		23(祝)	乙訓障害者スポーツのつどい	向日市民体育館	
		25(土)	車いすハンドボール審判講習会⑥	京都市障害者スポーツセンター	
		26(日)	第17回全京都車いすハンドボール大会	京都市障害者スポーツセンター	
		26(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
詳しくは、京都障害者スポーツ振興会事務局まで(火曜日及び第3金曜日は定休日) 京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (8月20日に一部更新)					

